

令和4年度 健幸都市づくり推進チームによる政策提案事業一覧

事業名	事業の主な内容	査定結果
デザインマンホールの設置	烏丸半島周辺エリアにイナズマロックフェスとコラボしたデザインマンホール（歴代のフェス参加アーティスト名を刻印）を設置し、エリア内の集客、回遊性を高め、楽しみながら歩くことを促進する。	上下水道部において、令和6年度の事業化を念頭に準備を進めること。
野菜自販機の設置	地元産野菜を購入できる自動販売機（キャッシュレス対応）を設置し、気軽に野菜を手取りできる機会を提供することで、野菜摂取量の増加を図るとともに、地元産野菜のPRや野菜摂取促進の啓発につなげる。	環境経済部において、令和5年度の事業化を念頭に準備を進めること。
歩数対決アプリの導入	既存の民間サービス（健康管理用アプリ）を活用し、市役所で実施している「歩数チャレンジ（歩数対決イベント）」を外展開し、市民を対象に実施する。アプリはインセンティブ付与の他にも、健康づくりに関するコミュニケーションツールとして活用し、当該事業を契機として、高齢者のデジタルデバイドの解消を図る。	健康福祉部において、令和5年度に調査研究を行い、令和6年度の事業化に向けて、準備を進めること。
e-スポーツによる介護予防	高齢者を対象にe-スポーツを展開し、交流機会の創出・脳の活性化等を通じた介護予防につなげる。健幸フェア等のイベントにおいて、e-スポーツを体験できるブースを出展し、取組を紹介するとともに、e-スポーツを使った地域での取組を促進させるため、導入を希望する事業所（地域サロン・介護事業所等）に対し、運営アドバイザーを派遣する制度を創設する。	健康福祉部において、令和5年度の事業化を念頭に準備を進めること。
働き世代を対象とした運動教室	運動する習慣のない働き世代（30～50代、BMI25以上 or メタボリックシンドローム該当者）に対し、専用のプログラムを提供（運動介入＋食生活指導）し、体重の減少に加えて運動習慣や正しい食習慣を身につけてもらう。運動介入は成果報酬型の委託契約による実施を検討する。	健康福祉部において、令和5年度に調査研究を行い、令和6年度の事業化に向けて、準備を進めること。